

平成27年度FD支援プログラム指定プロジェクト調査結果による提案一覧  
「私立大学等改革総合支援事業タイプ1の調査研究」

期別	摘要	提案趣旨	実施予定時期	検討する委員会等
早期対応	①シラバス記載内容第三者チェック	シラバスの第三者チェックを導入することにより、カリキュラムポリシーとの関連性など、各項目が適正に明示されているか確認するため。	H28年度	教務委員会、 共通教育運営委員会 等
	②学生による授業評価結果の活用	授業についてのアンケート結果に対する制度的取組 <sup>※</sup> を行う。または、アンケート結果を学生に開示し、科目選択に資することにより、全学的な授業改善を図るため。 <sup>※</sup> (例:評価の高い教員への顕彰や、評価の低い教員に対する改善計画提出の義務付け等)	H28年度	FD委員会 等
	③外部組織との協定書に基づいた連携に伴う課題解決型アクティブ・ラーニングの実施	学外の特定の組織等と協定書に基づき連携し、当該組織等の課題解決に学生を主体的に関与させ、学生の課題解決力の向上を図り、アクティブ・ラーニングの普及に資するため。	H28年度	経営広報役員室(包括的連携協定書締結)、各学部 等
	④オフィスアワーの厳格化	全学的にオフィスアワーを厳格化することで、学生への相談体制の向上を図るため。(非常勤教員に関してはシラバス等で講義時間の前後で対応する旨を記載し、周知する。)	H28年度	教務委員会 等

	摘要	提案趣旨	検討開始時期	検討する委員会等
中期対応	①IR室の設置	学習時間・教育の成果等に関する情報等の収集・分析を行い、学生に関する総合的な情報を一元化し、大学改革や入試戦略に活用するため。	H28年度	-
	②学生の学修時間の実態や学修行動の把握	学生の学修状況の実態を把握・分析することにより、教育・指導方法および学修環境の向上を図るため。	H28年度	FD委員会、 厚生補導委員会 等
	③教員の教育面における評価制度の導入	教員の活動を総合的に評価することにより、昇任や給与に反映し、大学の教育・研究活動の向上を図るため。	H28年度	FD委員会、教授会、 大学協議会 等
	④履修系統図の作成および科目ナンバリングの実施	全授業科目に係る体系性・有機的連携を確保し、学生の学習計画および科目選択に資するため。	H28年度	FD委員会、教務委員会、 各学部 等
	⑤成績評価におけるGPA制度の導入および活用	GPAを卒業判定・退学勧告等に用いて厳格な成績評価を実施し、教育の質保証に資するため。	H28年度	教務委員会 等
	⑥学生の学修成果の把握	外部の標準化されたテストや学修行動調査、学修ルーブリック、学修ポートフォリオ等の活用により、学生の学修成果を把握し、教育の質保証に資するため。	H28年度	FD委員会 等